ファミサポ通信 NO.9

いの★ファミリー・サポート・センター はっぴい

令和３年１２月発行

日頃はファミサポの活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。
令和３年ももうすぐ幕が閉じようとしています。みなさんにとってどんな年だったでしょう。
‘With コロナ’の生活の中、できることが制限され、それでも何かファミサポでできることはないか･･･と日々考えながら過ごしました。
そんな中、スタートした「出張登録説明会」や「体験会」。ぐりぐらひろばで実施することで、遊びに来ている子育て世帯の方々にファミサポを知っていただくきっかけになったかなと思っています。
こうした地道な活動を継続して行うことで、少しずつファミサポが身近に感じられるようになれば嬉しいです。まだまだ力不足なこともありますが、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

『介護に関する入門的研修』を実施します！

多くの方が不安に感じる、介護に関する基礎知識や認知症の理解、基本的な介護方法やその技術について、わかりやすく学んでいきます。

- ■対　象・・・介護に関心のある方、学生、求職中の方、定年退職を予定されている方など
- ■場　所・・・すこやかセンター伊野

※詳しくは、いの町広報１月号をご覧ください。

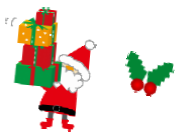
無料の託児もあります！
（町内在住の方が対象）

［年末年始についてお知らせ］

令和３年 12 月 29 日（水）～令和４年１月３日（月）は、年末年始につきお休みいたします。
新年は、令和４年１月４日（火）から始業となりますので、よろしくお願いいたします。

［ファミサポの利用について］

既にマッチングが終わっている方については、直接会員さん同士でやり取りをしてください。
ただし、活動が決まったときはセンターにも必ず「いつ・どこで・誰が・誰のサポートをするのか」ご連絡くださいね。（連絡は、おねがい会員さんからセンターへ、メール・LINE・FAX のいずれかでお願いします。）
また、初めてご依頼される方は、事前打ち合わせ（顔合わせ）等の調整が必要です。余裕を持ってご相談ください。（お急ぎでない場合は、新年始業後にご連絡ください。）



ご 報 告

令和３年４月～１１月末までの会員数や活動件数について
ご報告いたします

会　員　数

１３６名

〇おねがい会員　　９２　名
〇まかせて会員　　４０　名
〇どっちも会員　　４　名

今年度は、ぐりぐらひろばで行っている『出張登録説明会』や『ファミサポ体験会』をきっかけに、登録してくださったおねがい会員さんが多くいました。
ありがとうございました😊

活　動　件　数

４３件
（依頼のあった件数）

〇預かり　　２８　件
〇送迎　　０　件
〇送迎＆預かり　　１５　件

ご利用（活動）してくださったみなさま、ありがとうございました。

おねがい会員さんから
こんな依頼がありました！

- 小学校放課後のお預かり（低学年なので、一人で留守番させるのは心配だから）
- 土曜日のお預かり（土曜日に仕事が入り、子どもたちだけで留守番は不安だから）
- 保育園終了後、お迎えとお預かり（夫婦共に帰りが遅いため）

[そのほか、こんなご相談もありました🌷]

◇里帰り出産をするため、いの町に帰省しています。上の子を預かってくれませんか!?
ご家族や保育園の一時預かりなどでなんとか調整をされていましたが、どうしても難しい日があるとのことで、ファミサポにご相談がありました。
→お産でママが入院されている間、ファミサポをご利用いただきました。（終日預かり）

◇保健師からの紹介
第２子を出産予定のご夫婦がいます。頼れる親族等が近くにいないので急なお産のときに心配です。ファミサポの会員さん、協力してもらえませんか？
→お産でママが入院中、パパもお仕事で家にいない日があったので、ファミサポをご利用いただきました。（終日預かり）

保 存 版

子どもが急に具合が悪くなったとき、あなたは対処できますか？

　これから年末年始の長いお休みに入ります。そんなとき、もし急にお子さんの具合が悪くなったとき、適切な対応ができるようにしておくと、いざというときに安心ですね。
　しばらく様子を見てもいいのか、急いで医療機関を受診した方がいいのか、おねがい会員さんだけでなくまかせて会員さんも、ファミサポ活動のときやお近くの方から相談されたときなど対応できるよう、今一度おさらいしておきましょう。
（この内容は、登録していただいた際にみなさんにお渡ししている「相互援助活動の手引き」に掲載しています。）

こんなときはためらわずに救急車を呼んでください!!

〇あきらかに顔色が悪い、ぐったりしている　　〇けいれんをしている

〇意識がない、返事がない、もうろうとしている　〇手足が硬直している

〇激しい咳や、ゼーゼーと呼吸が苦しそう

〇広範囲の痛みのひどいやけど

〇急にじんましんが出て顔色が悪くなった

〇激しい下痢や嘔吐で水分が取れない、食欲もない

もし、夜間や休日に急に具合が悪くなり、受診するべきかどうか迷われた場合は、
『こうちこども救急ダイヤル　＃８０００』に電話して、ご相談ください。
看護師が相談に応じてくれます。　（相談時間帯：毎日、午後８時～午前１時まで）

また、お近くに受信できる医療機関がない場合は、
『高知県救急医療情報センター　　０８８－８２５－１２９９』に電話してください。
小児科医のいる当番病院など受診可能な医療機関を紹介してくれます。

ファミサポ体験会のご報告　part2

今回は、もうすぐ３歳になる男の子（Ｈくん）のお母さんからお申し込みがありました。

お預かりするのはまかせて会員のＴさん。以前からぐりぐらひろばでお顔を合わせていたお二人なので、安心して活動できたようです。

まずは事前打ち合わせをして、Ｈくんの好きな遊びやお母さんが持たせてくれた着替え等の確認、もしものときの緊急連絡先などを確認してお預かりが始まりました。

これまで家族以外の人に預けたことがなく、お母さんもＴさんもちょっぴり心配していましたが、Ｈくんのしている遊びにＴさんが自然に加わり、機嫌よく遊び始めました。お母さんはその間にそっと外出されました。

Ｈくんは自分のしたい遊びを次々見つけ、「次はこれをする！」「これはどうやったらえいろう･･･。考えてみる！」と自分の思いをきちんと口にし、何か思いついたときには「なるほど！」「なるほど！」と何度も言いながら次の遊びへつなげていました。そして、ひろばに遊びに来ていたお友達ときどき視線を合わせ、おもちゃを貸してあげたり、おままごとを一緒にしている姿も見られました。

遊んでいるうちにお母さんがいないことに気がついたようで、黙って玄関に行って靴を履き、扉を開けて外へ･･･。Ｔさんが「雨が降っているから中で遊ぼうね。」と声を掛けると、ぐずることもなくすぐに中に入り、そのままひろばの中の電車が見える窓へ一直線で走っていきお母さんの車があるかどうか確認に行きました！そこでＴさんが「お母さんは用事があって出ているからね。終わったら帰ってくるよ。」ということを伝えると納得したようで、「次はこれして遊ぶ！」とまた遊び始めました。

そのあともお絵かきをしたりままごとをしたり終始ご機嫌で遊ぶＨくん、そしてその姿を優しく見守るＴさん。とってもゆったりと、いい雰囲気の中、時間が流れていきました。

そうしているうちにお母さんが戻ってきたので、Ｔくんはどうするかな？と思っていたら、ちょうどお友達との遊びに夢中で、お母さんには「まだ遊ぶ！」と言って、気が済むまで遊んでいました😊

こうして、今回の体験会も無事に終了しました。

利用してくださったＨくんのお母さん、まかせて会員のＴさん、ありがとうございました！！

～おねがい会員さんより～

最初は人見知りするかなと心配でした。でも、「ぐりぐらひろば」という知った場所で、まかせて会員さんも知っている人だったので、安心して利用することができました。子どもの表情を見て、本当に楽しい時間だったことが伝わりました。まかせて会員さんがとても穏やかで優しく母性のある方なので、また利用したいです。

～まかせて会員さんより～

Ｈくんが普段から遊び慣れている場所だったので、自分から好きな遊びを楽しみ、お友達とも上手に関わっていました。そんなＨくんに癒されっぱなしでした。初めて家族以外に預けるということで泣いてしまったらどうしようと心配でした。自分の子育て以来、小さなお子さんのトイレ介助なども機会がないため心配でした。

お預かり体験の様子♪

お預かりスタート！
お母さんが外出したことに気づかないくらい
Ｈくんは一生懸命遊んでいました。

鉄道の線路を作るのに必死です。どれとどれを組み合わせたら長い線路になるか、じーっと考えています。何かいいことを思いつくと、「なるほど！」と言いながら修正していました。

踏切の音がすると窓に近づき、電車が通るとニコニコ笑顔で手を振って見送りました。

お絵かきも楽しみました

初めて家族以外の人と過ごしたＨくん。お母さんが出かけていることを知ってもそれを受け止め、自分の好きな遊びを見つけて楽しく過ごすことができました。きっと寂しくなかったわけではなく、「お母さんは絶対迎えに来てくれる！」という確信があったからだと思います。親子の信頼関係がしっかり築けている証拠ですね。Ｈくん、よくがんばりました！！

まかせて会員さんの言葉に「癒された」とありますが、本当に、子どもと接することで預かる側の心が癒され元気が湧いてくるんですよね。

「（預かってくれて）ありがとう」↔「（元気をくれて）ありがとう」、これこそファミサポです♡

オレンジリボンを広めよう！

毎年１１月は「児童虐待防止月間」とされていますが、みなさんご存知ですか？
先日、児童家庭支援センター　高知ふれんど　センター長　谷本様の講話“地域の子どもは地域が守る”を聴く機会があり参加してきました。高知県では、２００９年から子ども虐待防止の「オレンジリボンキャンペーン」に取り組んでおり、今年で１２年目になるそうです。
この‘オレンジリボン’が始まったきっかけは、平成１６年に栃木県で幼い兄弟が虐待の末に亡くなるという痛ましい事件があり、「二度とこのような悲劇がおこらないように」との願いから始まったそうです。以来『子どもと家族の笑顔のために』をスローガンに掲げ、児童虐待防止を目指し活動されているということでした。

ひと言で‘児童虐待’と言ってもその種類はさまざまです。身体的虐待・心理的虐待・ネグレクト・性的虐待･･･なかでも近年は「心理的虐待」が多いそうです。これは外見からは分からないことが多く、例えばドメスティックバイオレンス（ＤＶ）を目撃することもそのひとつだそうです。ＤＶをその場で目撃することもあれば、隣の部屋または階下から聞こえる叫び声や怒鳴り声・物が壊れる音などを身を固くしながらじっと聞いている･･･などということも虐待になるそうです。

では、そのような虐待を未然に防ぐためにはどうすればいいのでしょうか。
まずは、地域のみなさんが児童虐待問題に関心を持ち、普段の生活の中で見守ってくださることが重要だそうです。例えば、実際にあった以下のお話をしてくださいました。

①（あるお母さん）

子どもを抱っこしてお買い物に行った。買い物を終え、片手に子ども・片手に買い物袋を持ち、両手がふさがってしまった。外は雨が降っている。すると、近くにいた女性が「お母さん、荷物を車まで運びますよ。」と声を掛けてくれ、車まで傘をさして荷物を運んでくれた。ありがたかった。

②（地域の方）

銭湯で、乳児と幼児を連れたお母さんを見かけた。子ども二人の体を洗ったあと、お母さんは自分の体を洗おうとしているが、子どもたちが動き回り目が離せない様子。勇気を振り絞って「お母さん、お子さんたちは私が見てるから、お母さんはゆっくり洗って。」と声を掛けた。
最初、声を掛けようかどうしようかすごく迷ったし勇気がいったけど、声を掛けて良かった。

③（小学生）

ある朝、交通安全の旗振りをしていたおじさんが「おはようございます。」と挨拶してくれたので、僕も「おはようございます。」と返した。そのあと「名前、何て言うの？」と聞かれたので「〇〇です。」と答えた。
次の日から、そのおじさんは「〇〇くん、おはようございます。」と言ってくれるようになった。僕は、家の中で自分の名前を呼ばれたことがなかったから、自分の名前を呼んでくれてすごく嬉しかった。

「地域で見守る」と聞くと、何か特別なことをしないといけないと思われる方もいるかもしれませんが、このお話を聞くと、ほんの少し勇気を出して声掛けすることも立派な見守りになるんだと思いませんか？
「おはよう」「こんにちは」「いいお天気だね」「元気？」「最近どう？」など、普段の声掛けを継続して行うことが「地域の見守り活動」の第一歩ですね。

そして、児童虐待の被害者は子どもですが、忘れてはならないのが加害者である親（または養育者）です。
実は、児童虐待問題は子どもたちを守るだけでは根本的な解決にならないそうなんです。なぜならば、加害者である親（または養育者）の中には、自身も虐待を受けて育ってきた方が少なくないからだそうです。それゆえ、体や心に傷を負っていながらどこに（誰に）助けを求めればいいのかわからず過ごしている場合もあります。そのことに地域にいる私たちが気づき、声掛けをしていくことが重要だと思います。

今回、このお話を聴かせていただいて、改めて地域の力が大事だと思いました。子育て世帯だけでなく、住民のみなさんひとりひとりが暮らしやすい社会を作るために、今後も地域のみなさんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

利用してくださった会員さんの声をお届けします

今回利用された感想をお聞かせください

急に預かりをお願いしましたが、対応してくださってとても助かりました。
初めての場所で、逆に探検心が出たようでした！
お散歩にも連れて行ってもらえて良かったです。

利用前に心配なことや不安はありましたか？

初めて保育園以外に子どもを預けたので、ずっと泣いていたらどうしようと心配でしたが、泣かずにお利口さんにしていたようで安心しました。

また利用したいと思いますか？その理由は？

利用したいです。
家で過ごすのとは違う刺激があって良いと思います。
まかせて会員さんも信頼できるので、機会があればまたお願いします。

●今回のサポートをしてくださったまかせて会員さんにも感想を伺いました。

「すごく楽しかったです！普段見慣れない場所だったせいか、いろんなことに興味を示し、部屋中探検していました。午前・午後にお散歩をし、ごはんもモリモリ食べてくれました。お昼寝もしっかりしました。また困ったときには声掛けてください。」とのことでした。

依頼してくださったおねがい会員さん、サポートしてくださったまかせて会員さん、
本当にありがとうございました！！

もしものときのファミサポ！

おねがい会員さんの中には『利用するかどうかはわからないけれど、何かあったときのために登録しています』という方がたくさんいらっしゃいます。
普段はご夫婦や祖父母、ごきょうだいなどが助けてくれる環境にいる方も、たまたまみんなの都合が合わずお子さんのお世話ができないこともあるかもしれません。
そんなとき、ファミサポがお役に立てるかもしれません！
もし、みなさんの周りに、「まだ登録していない」「登録しようかどうしようか迷っている」という子育て中の方がいたら、ぜひご紹介ください♪

～会員のみなさまへ、センターからのお知らせとお願い～

❖まかせて会員を養成する『保育サービス講習会』を、令和４年２月に実施予定です。

お近くに希望される方がいましたら、ぜひご案内ください。（子育て中の方も大歓迎です！）

詳細についてはお問い合わせください。

❖今年度取り組んでいる『出張登録説明会』や『ファミサポ体験会』についてご案内です。

✿出張登録説明会･･･令和４年１月８日（土）１０：００～１１：００

✿ファミサポ体験会･･･令和４年１月２１日（金）１０：００～１２：００【要予約】

場所は、どちらもぐりぐらひろばです。

■登録内容に変更があった場合は、お早めにセンターまでお知らせください。

例　⇒　〇住所が変わりました　〇電話番号が変わりました　〇家族が増えました

〇援助活動できる曜日が変更になりました　など

■活動が決まったら、必ずセンターへ連絡してください。

まかせて会員さんに直接依頼をして、終わりにしていませんか？センターに連絡のない活動は補償保険が適用されませんので、まかせて会員さんに引き受けてもらったらセンターにもご連絡ください。

■ファミサポへのご意見やご要望をお聞かせください。

「もっと〇〇だったらいいのに・・・」や「こんな理由で依頼できるのかな？」「こんな講習会をしてほしい！」など、みなさまのお声をお聞かせください。ご連絡は FAX やメール・LINE 等でお願いします。

〇FAX：088(893)1101　〇Mail：famisapo@town.ino.lg.jp　〇LINE　ID：famisapo520100

■お預かりする場所として、町内にある介護施設が利用できるようになりました。

高齢の方が利用している介護施設ですが、いつでも地域の方と交流ができるようにと『地域交流スペース』があり、少しの間お子さんをお預かりする場所として利用できるようになりました。

地域の中で日常的に異世代交流ができれば、お子さんにとっても良い刺激になるのではないでしょうか。

（ご利用には事前の予約が必要です。余裕を持ってご連絡ください。）

①小規模多機能型居宅介護事業所　壽幸園（いの町天王南６丁目 1-1）

②小規模多機能型居宅介護事業所　青　空（いの町 3611-5）

～アドバイザーより～

今年もあっという間に過ぎてしまいました。(←毎年、年末になると必ず言うセリフです(-_-;))
この１年もファミサポ事業にご協力くださり、本当にありがとうございました。
会員のみなさまのご理解があってこそのファミサポだと感謝しています。この活動をもっともっと広げていけるよう、来る年も精一杯活動のお手伝いをさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。
みなさま、よいお年をお迎えください。

いの★ファミリー・サポート・センター

はっぴい

〒781-2110　吾川郡いの町１４００番地
すこやかセンター伊野内　ほけん福祉課
TEL：080-2982-8108（ファミサポ専用）
088-893-3810　（ほけん福祉課）
Mail：famisapo@town.ino.lg.jp
famisapo520100@docomo.ne.jp